

越生町立梅園小学校



< 地域の産物で心を育てる収穫祭 >

団体・学校の特徴	学校創立148年を迎えた地域とのつながりが深い学校である。自然豊かな学校で、梅干しづくり体験やサツマイモの収穫、ヒラタケの植菌体験等、多くの体験活動を通して児童の豊かな心の育成に力を入れている。				
所在地（市町村名）	越生町	会員数又は児童生徒数	68名	活動期間	22年0か月
活動内容	収穫祭では、児童が収穫したサツマイモやヒラタケを使って、PTA・保護者・日赤奉仕団の協力で調理した焼き芋や豚汁をみんなで食べる。また、低学年が作った梅干しを使って、親子でおにぎりを作って食べる。収穫祭での体験活動を通して、自然の恵みに感謝する気持ちと地域の産物について学ぶ。				

特徴的な活動

<様々な体験活動>



梅干しづくり（1～3年）



ヒラタケの植菌（5年）



サツマイモ掘り（全校児童）



ヒラタケの収穫（6年）

自然の恵みに感謝

豊かな心の育成

地域の産物を学ぶ

目的

- ★自分たちで育てたサツマイモや、低学年が漬け込んだ梅干しを使って握ったおにぎりなどを親子で食べることで、**食物を大切にしようとする心を育て、自然の恵みに感謝する。**
- ★越生町特産の梅や柚子を使った料理を食すことで、**地域の産物を知り、地域理解を進めながら郷土を愛する心を育てる。**
- ★全校で親子レクや親子おにぎりづくりを行うことで、**PTA会員相互の親睦を図ったり、親子の絆を深めたりする。**
- ★本校が災害時の避難所に指定されていることを受け、日赤奉仕団の協力を受けながら、**有事を想定した活動を行うことで、防災について学ぶ機会とする。**

収穫祭



参加者全員で会食



おにぎりづくり